

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	解剖生理学		
科目基礎情報								
科目番号		2023-819		科目区分		専門 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科		医療福祉機器開発工学コース		対象学年		専1		
開設期		前期		週時間数		2		
教科書/教材		解剖生理学がわかる、飯島治之著、技術評論社						
担当教員		芳野 恭土						
到達目標								
細胞と組織系・外皮系・呼吸器系・消化器系・血液、循環器系・リンパ系・神経系 内分泌系・感覚器系・骨格系・筋肉系・泌尿器系・生殖器系の身体の構造と機能のうち、6割以上について理解し、簡単に説明できる。(C1-3)								
ルーブリック								
		優秀基準		標準基準		未到達基準		
1. 細胞と組織系・外皮系・呼吸器系・消化器系・血液、循環器系・リンパ系・神経系 内分泌系・感覚器系・骨格系・筋肉系・泌尿器系・生殖器系の身体の構造と機能のうち、6割以上について理解し、簡単に説明できる。(C1-3)		□細胞と組織系・外皮系・呼吸器系・消化器系・血液、循環器系・リンパ系・神経系 内分泌系・感覚器系・骨格系・筋肉系・泌尿器系・生殖器系の身体の構造と機能のうち、8割以上について理解し、簡単に説明できる。		□細胞と組織系・外皮系・呼吸器系・消化器系・血液、循環器系・リンパ系・神経系 内分泌系・感覚器系・骨格系・筋肉系・泌尿器系・生殖器系の身体の構造と機能のうち、6割以上について理解し、簡単に説明できる。		□細胞と組織系・外皮系・呼吸器系・消化器系・血液、循環器系・リンパ系・神経系 内分泌系・感覚器系・骨格系・筋肉系・泌尿器系・生殖器系の身体の構造と機能のうち、6割以上について理解し、簡単に説明することができない。		
学科の到達目標項目との関係								
実践指針 (C1) 実践指針のレベル (C1-3) 【プログラム学習・教育目標】 C								
教育方法等								
概要		医療機器を開発するにあたり基礎知識として、ヒトの身体の構造と機能について理解する。						
授業の進め方・方法		授業は主に講義の形式で行う。						
注意点		1.評価については、評価割合に従って行います。ただし、適宜再試や追加課題を課し、加点することがあります。 2.中間試験を授業時間内に実施することがあります。 3.この科目は学修単位科目であり、1単位あたり15時間の対面授業を実施します。併せて1単位あたり30時間の事前学習・事後学習が必要となります。						
授業の属性・履修上の区分								
□ アクティブラーニング		□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応		☑ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス+序		授業の概要および解剖生理学の背景を理解できる			
		2週	細胞と組織		細胞の構造と機能、細胞の集合体としての組織について理解できる			
		3週	外皮系		皮膚：表皮、真皮、皮下組織について理解できる			
		4週	呼吸器系		鼻、咽頭、喉頭、気管、肺について理解できる			
		5週	消化器系		口、食道、胃、小腸について理解できる			
		6週	消化器系		肝臓、膵臓、大腸、腹膜について理解できる			
		7週	血液、循環器系		血液の成分と機能、心臓、血管について理解できる			
		8週	リンパ系		リンパ系と免疫について理解できる			
	2ndQ	9週	神経系		中枢神経、末梢神経について理解できる			
		10週	内分泌系		内分泌系とホルモンについて理解できる			
		11週	感覚器系		視覚、聴覚、臭覚について理解できる			
		12週	感覚器系		味覚、触覚について理解できる			
		13週	骨格系		全身の骨格について理解できる			
		14週	筋肉系		骨格筋、平滑筋について理解できる			
		15週	泌尿器・生殖器系		腎臓、尿、生殖器について理解できる			
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
		前期末試験		課題		合計		
総合評価割合		60		40		100		
解剖生理学の基礎理解力		60		40		100		